

循環器内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

| | |
|---------------------------|--|
| 研究課題名 | 房室ブロックによるペースメーカ植え込み患者の心臓サルコイドーシス罹患率の検討 |
| 研究機関名 | 愛知医科大学病院 |
| 研究機関の長 | 病院長 道勇学 |
| 担当科等 | 循環器内科 |
| 研究責任者 | (職名)准教授(特任) (氏名)中野雄介 |
| 試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名 | 非該当 |
| 研究の意義・目的 | 房室ブロックは心臓サルコイドーシスの主要な徴候となります。しかし、発症初期には診断が困難なこともあり、ペースメーカの植え込み後に心臓サルコイドーシスと診断されることも少なくありません。 当院ではペースメーカ外来に通院している患者さんに、心臓超音波検査を行っていますが、異常を認めた場合に心臓 PET 検査を施行しています。心臓 PET 検査は最新の心臓限局型サルコイドーシスの診断ガイドラインにおいても診断基準に含まれています。本研究では心臓 PET 検査結果を用いて房室ブロックが原因でペースメーカ植え込みをされた患者さんのうち心臓サルコイドーシスと診断された患者さんの罹患率について検討します。 |
| 対象となる患者さん | 当院のペースメーカ外来に通院中の患者さんのうち、房室ブロックによりペースメーカが植え込まれている患者さんで 2018 年 1 月から 2020 年 12 月までに心臓超音波検査を施行した患者さんが対象となります。 |
| 研究の方法 | 当院のペースメーカ外来に通院中の患者さんのうち、心臓サルコイドーシスの方がどのくらいの割合でいるのかを調査します。 また、ガイドラインは定期的に更新されており、それらの患者さんにおいて旧ガイドラインと新ガイドラインを比較することによる診断能の相違を調査します。 |
| 研究期間 | 研究実施承認日 ~ 2022 年 3 月 31 日 |
| 研究に用いる試料・情報 | 情報：診療情報と心臓エコー検査の結果、心臓 PET 検査結果 |
| 外部への試料・情報の提供 | なし |

| | |
|----------------------|--|
| 試料・情報の利用又は提供を希望しない場合 | 本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2022年3月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。 |
| 問い合わせ先 | 愛知医科大学病院 循環器内科 担当者：(職名)准教授(特任) (氏名)中野雄介 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311(内線)23490 |